

教員の公募について

1. 公募人員 教授、准教授、講師または助教 1名
2. 所 属 一般教育科
3. 専門分野 英語教育学、応用言語学、英語学、英米文学、その他英語関連分野
4. 担当科目 (本科) English Communication , English Expression , Level Up English など
(専攻科) 現代英語、英会話など
5. 応募資格 次の条件を全て満たしていること。
 - (1) 採用時に修士以上の学位、またはそれ相当の教育経験、職務経験、研究業績、資格等を有する方。
 - (2) 心身ともに健康で、クラス担任、部活動の顧問及び寮の宿日直等の業務を含む高等専門学校での学生指導に理解と熱意があり、継続して取り組める方。
 - (3) 外国語を母語とする場合は、授業及び学生指導も含め校務の遂行が可能な日本語能力を有している方。
 - (4) 高等学校や高等専門学校・短大・大学等での教育経験を有する方が望ましい。
6. 採用予定時期 令和7年4月1日
7. 提出書類 次の(1)～(6)については必ず提出すること
 - (1) 履歴書(氏名は本人自筆、写真貼付)(第1号様式)
 - (2) 教育研究業績書(第2号様式)または職務経歴書(任意様式)
 - (3) 主要な著書、論文等の別刷り又はコピー(3編程度)
 - (4) 教育活動・研究活動・学会及び社会的活動について(第3号様式)
 - (5) 高専における教育(教育・学生指導)と研究に関する見解と抱負(第4号様式、2000字程度)
 - (6) 推薦状1通(様式自由)ただし、推薦書の用意ができない事情のある場合は、参考意見を伺える方1名の氏名、役職及び連絡先(住所・電話番号・E-mailアドレス)
※ 所定様式は、本校 HP(URL <https://www.toba-cmt.ac.jp/saiyou/>) からダウンロードしてください。
8. 応募期限 令和7年2月21日(金)必着
9. 選考方法
 - (1) 一次選考 書類審査
 - (2) 二次選考 模擬授業及び面接(一次選考合格者に実施日時をお知らせします。)
(面接実施前に20分程度の模擬授業を行っていただきます。)
10. 提出先 〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1
鳥羽商船高等専門学校 総務課 人事労務係
(提出書類は「簡易書留」とし、封筒に「一般教育科教員応募書類(英語)」と朱書きすること)

11. 問合せ先 (1)教育・研究に関すること 一般教育科 英語科主任 橋爪仙彦
E-mail: hashizme@toba-cmt.ac.jp
TEL 0599-25-8010(ダイヤルイン) FAX 0599-25-8026(総務課)

(2)その他、事務的なこと 総務課 人事労務係

E-mail: soumu-jinji@toba-cmt.ac.jp

TEL 0599-25-8012(ダイヤルイン) FAX 0599-25-8026(総務課)

12. その他

(1) 選考結果通知は面接実施後、1 週間以内に本人に通知します。

(2) 面接時の交通費は応募者の負担となります。

(3) 応募書類は、原則として返却しませんが、特に希望される場合は返信封筒を同封してください。

(4) 応募書類により取得する個人情報は、本校の教員を採用するための目的に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

(5) 鳥羽商船高等専門学校では、男女共同参画を推進しております本公募では、業績(教育・研究業績、社会貢献、人物を含む)の評価が同等と認められた場合は、女性応募者を優先的に採用します。

(6)本人の意向を踏まえ、高専間異動をすることがあります。

鳥羽商船高専の教員が携わる校務内容の概略

高専は、その教育目標や学生の年齢層(本科:15~20歳、専攻科:20~22歳)の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があります。高専の教員は、教育、研究、学生の生活指導などの全てに対して情熱を持って積極的に努力する姿勢が求められます。ここでは、鳥羽商船高専教員の校務について、認識をさらに深めていただくために、その主なものを記します。負荷が大きいと思われる業務については、担当者との協議により配慮します。

(1) 授業

教員の担当授業時数は、本科における講義が週約15時間です。さらに、専攻科の講義がこれに加わる場合があります。定期試験は年4回あり、前期末と学年末に学生に対する補習、再試験など、全員の進級を目指して指導します。また、教員相互に行う授業観察や年度末などに行う学生による授業評価などを通して、教育方法の改善に継続的に取り組むことが求められています。

(2) 研究

高専の教員は、教育面や学校運営への参画のみならず、研究面での業績も求められます。研究に対する意欲的な姿勢と成果が学校全体の教育研究面の活性化を促し、さらには地域社会への貢献につながることを期待されています。また、科学研究費に関しては、全教員に申請をお願いしています。

(3) 学級担任

学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導が強く求められます。例えば、高等学校と同様に、学校祭である海学祭や体育祭など各種行事での指導、学生への個人面接や保護者との懇談、1~3年次はホームルームなども重要な職務となっています。また、見学旅行の引率指導、キャリア教育を行います。

(4) 各種委員会・会議

本校には、教務委員会、学生委員会、寮務委員会をはじめ各種の委員会があります。また、定期的に学科会議や教員会議等が行われます。情報交換や学校運営に対する意見の集約等を行う重要なものとなっています。学生の教育・生活指導は、教務主事室、学生主事室、寮務主事室をはじめ全教員が協力し行っており、例えば、寮務主事室メンバーは宿直に加えて、学寮内の巡回、寮生の日常生活の指導、寮での各種行事の指導などを行います。

(5) 部活顧問

部活顧問としての日常的な指導をはじめ、運動系の場合には、高専体育大会(地区大会・全国大会)の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率、合宿時の指導などがあります。また、各種コンテストに向けた指導、引率等を実施していただきます。

(6) 学寮の宿日直

本校では、原則として全教員に学寮の宿直と日直(日直は土・日・祝日のみ)が割り当てられます。月1回程度の割り当てですが、女子寮も設置されており女性教員による宿直もあります。200名近い男女寮生を指導するこの職務は、本校教員の重要な学生対応業務の一つです。

(7) 社会貢献

本校では、共同研究、受託研究、公開講座、出前講座など様々な形で地域連携活動を展開しています。地域社会からも様々な形で本校に対する要望が寄せられます。地域連携活動が学生教育へ及ぼす効果に加え、地域に根ざした高専としての存在価値を高めるためにも、高専教員には積極的に地域社会に対して貢献する姿勢が求められます。